広報
なかどまり
3月
2006 March No.12

イガっタラきてけフェア大盛況

2月5日、青森県観光物産館アスパムで「第13回イガっタラきてけフェア」(むつ市脇野沢・中泊町小泊合同物産展)が開催されました。

会場となったアスパムには、開店とともに大勢の買い物客がイベントホールに押しかけて大混雑となり、タラやヒラメなどの新鮮な活魚・海産物を買い求めていました。

また、大漁旗で彩られ雪が降りしきる玄関前では、1匹20～30kgのゆでダコの解体販売や抽選に当たった人が参加できる活イカ釣りが行われ長蛇の列ができていました。そのほかにも「ホタテの貝焼き」や「焼きイカ」、「タラのじゃっぱ汁」などの郷土の味が大人気で、寒さを吹き飛ばしてしまうほどの熱気に包まれていました。

中泊町地域イントラネット基盤施設整備事業

平成18年３月３日より運用開始中

地域イントラネットとは？

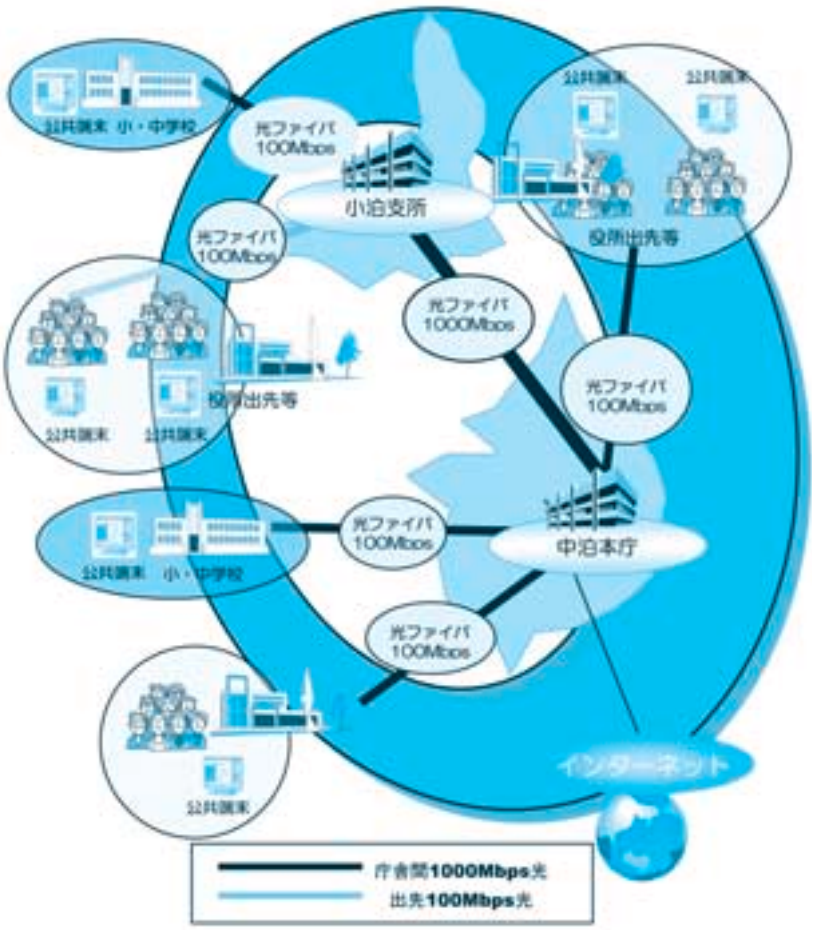
「イントラネット」とは、「内部の通信技術」という意味で、インターネットの技術を用いて構築された中泊町内だけの通信サービスです。

具体的には、右記の図のように中里～小泊庁舎間及び各公共施設間を光ファイバによる超高速回線で接続しました。このことにより今まで実現できなかった住民サービスの提供が可能になりました。

地域イントラ事業の概要

中泊本庁から小泊支所までを幹線とし、光ファイバケーブル1000Mbpsを敷設し、各公共施設及び小中学校を支線とし、光ファイバケーブル100Mbpsを敷設しました。

また、各公共施設及び小中学校に専用のパソコンを設置し、以下のシステムを導入して、住民のニーズに沿ったサービスの展開を目指していきます。



議会の中継

時間、交通手段の制約から議会本会議の視聴が困難な住民に対し、インターネットを利用した議会中継を動画で提供することができるようになり、また、過去の議会の模様も視聴することができるようになりました。

※総合文化センター、すくすくしたまえ館は大型テレビで視聴できます。また、町のホームページからも視聴できます。

行政情報の提供

行政情報（お知らせ、ニュース、行事案内、行政サービス、窓口案内など。）を最寄の公共施設や自宅のパソコン、携帯電話などで住民が簡単に閲覧・入手ができるようになり、申請書類など各種書類の入手もできるようになりました。

また、高齢者や視聴覚障害者などのハンディを持つ人にとっても支障のないサービスが受けられます。例として、視覚障害の方が音声読み上げソフトを利用する際の使い勝手を考慮しています。

町のホームページ　http://www.town.nakadomari.lg.jp/

健康相談・健康管理

自宅近くの公共施設において、健康状態のチェックや保健師への相談等が簡単にできます。また、付属している血圧計で簡単に測定し、健康管理に役立てることができます。

【利用できる施設は】
武田出張所、内潟出張所、老人福祉センター小泊支所、すくすくしたまえ館、本庁、小泊漁協

電子窓口行政相談

最寄の公共施設などから、相談したい課を呼び出し、相談相手、相談員双方の顔を画面に表示し、映像・音声・文字情報を用いた各種行政相談が行えるようになりました。

【利用できる施設は】
武田出張所、内潟出張所、老人福祉センター小泊支所、すくすくしたまえ館

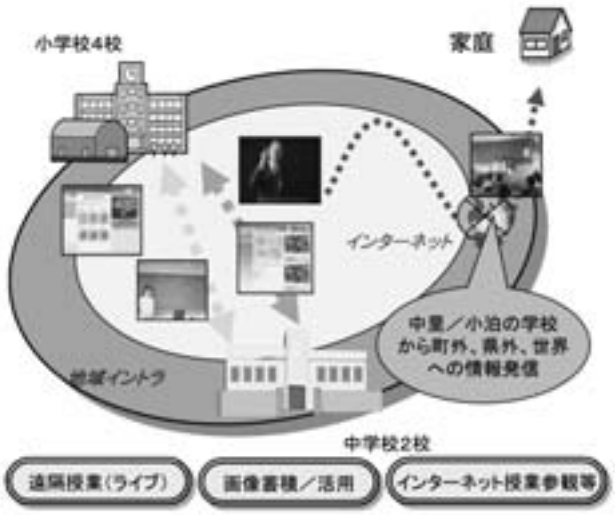
防災情報の提供

防災情報を、住民にパソコンや携帯電話等に提供することが可能となりました。また、小泊地区と下前地区に監視カメラを設置しました。この映像は、町のホームページから誰でも視聴可能です。

交流・遠隔授業

学校間の映像を双方向でやりとりする事により、飛び地というハンディを補い、生徒同士の交流を深めることができます。また、各学校のもつ特色ある授業を町内全ての学校で共有することができます。

授業参観や授業風景、イベント等の映像もインターネットを利用した配信サービスも可能となりました。



こどまり冬物語ツアー

1月28、29日の2日間「第3回こどまり冬物語ツアー」が行われました。

小泊の冬季観光の活性化を目的に行われているこのイベントには、今年も東京都や函館市、県内各地から43人が参加しました。

28日午後、すくすくこどまり館に到着した一行はスタッフの歓迎を受けた後、芸術的に凍りついた七ッ滝や青岩海岸を散策して冬の荒波を間近で体験しました。

日本海の荒波を体験

夜は日本海漁火センターでの交流会。川山光則観光協会会長が開会の挨拶、小野町長が歓迎の挨拶をした後、葛西徳男うみどりーむ振興公社理事長の乾杯で交流会が始まりました。

料理は地元の食材をふんだんに使った、イカ・マグロ・タイの刺身やモズク、タラのじゃっぱ汁、若生おにぎりなど郷土料理20品目以上が並び参加者は大満足でした。さらにタコやマグロの解体ショーなど、ほとんどの料理が参加者の前で調理され、参加者は舌だけでなく目でも料理を楽しみました。

タコの解体ショーでは子ども達も恐る恐る大ダコの足に手を触れたりしていました。

乾杯で交流会スタート

また舞台の上では、小泊婦人会の小泊音頭や権現漁火会のよさこいソーラン、スタッフやツアー客も参加してのカラオケ大会と大盛り上がりでした。

翌29日は、ライオン海道や徐福の里公園、小説「津軽」の像記念館などの施設を見学しました。その後、すくすくこどまり館の玄関前で熱燗を片手にタコやスルメなどをあぶって海の珍味を堪能しつつ、耐寒体験をしました。

2日間のツアーを通して、参加者は、小泊の冬景色と美味しい料理を満喫し、盛況のうちにこどまり冬物語ツアーは終了しました。

タコの解体ショー

マグロの解体ショーに注目

タコの足にタッチ

みんなで踊った小泊音頭

出来たての料理にはしが進みます

徐福の里見学

熱燗にスルメは最高

豪快にタコを釜茹で

スルメ美味しいネ

第1回中泊町文化賞・スポーツ賞授与式

2月12日、パルナスにおいて第1回中泊町文化賞・スポーツ賞授与式が行われ、文化活動や各種スポーツで活躍した2団体と49人の方に表彰状が授与されました。

式辞で藤田教育長が、「受賞を契機により一層精進して、今後も活躍してください」とあいさつ。また小野町長が、「『文武両道』といわれるように文化・スポーツともに盛んな町になってほしい」、成田県議会議長が、「中泊町のスポーツの発展が、県スポーツ界の原動力になってほしい」と祝辞を述べました。

これに対し、受賞者を代表して葛西未奈美さんが、「受賞を励みにより一層努力して、中泊町の文化・スポーツの発展に寄与することを約束します」と謝辞を述べました。

文化賞

【少年文化奨励賞】

◇書道
川島　琴美（中里中3年）
小野　夕佳（中里中3年）
成田　聖奈（中里中3年）
加賀田知里（中里中2年）
下山佳菜絵（中里中2年）
三上歩乃佳（小泊小3年）
笹山　実聖（小泊小6年）

◇絵画
加藤奈保子（弘実高3年）

◇俳句
野上　祐雅（薄市小1年）
宮本　遼一（木高車分3年）

スポーツ賞

【団体賞】

中里体育協会陸上競技部
中里体育協会ウエイトリフティング部

【努力賞】

◇陸上競技
古川　真也（中里小6年）
成田　隆星（薄市小6年）

◇相撲競技
打越　奎也（中里小3年）

◇卓球競技
福士　鈴奈（薄市小2年）
高杉　大成（薄市小3年）
高杉　愛理（薄市小6年）
神成実菜美（薄市小6年）

【奨励賞】

◇陸上競技
宮越　尚也（中里中1年）
鈴木　功也（中里中3年）
三上　直樹（金高市浦分1年）
松谷　光（金高市浦分3年）
塚本　馨（金高市浦分3年）
藤崎　弘達（金高市浦分3年）
赤石　樹哉（弘実高1年）
石川　功大（弘実高1年）
山本　勇樹（五工高2年）
葛西未奈美（木造高3年）
高橋佳太郎（法政大1年）
野呂　透（中里体育協会）
野上　新二（中里体育協会）
川浪　晋司（中里体育協会）
下山　達彦（中里体育協会）
長内　哲（中里体育協会）
田中　貢（中里体育協会）

◇少林寺拳法競技
加藤　剛士（五一高1年）

◇相撲競技
伏見　鴻（中里中1年）
小寺　亮栄（中里中3年）

◇卓球競技
青山　翔飛（中里中2年）
福士　大智（中里中2年）
渋川　侑史（中里中2年）
高杉　太一（中里中2年）

◇ソフトテニス競技
小野　竜寛（中里中3年）
我満　祐衣（中里中3年）
古川　美咲（中里中3年）

◇ボクシング競技
山本　秀（弘工高3年）

◇スキー競技
毛内　里佳（中里体育協会）

◇ウエイトリフティング競技
岩田　幸一（中里体育協会）
工藤　一稔（中里体育協会）
小野圭一郎（中里体育協会）

小泊少年少女発明クラブ13名出場で9名入賞

……ジュニアロボットコンテスト

2月18日、六ヶ所村総合体育館において「第7回青森県・げんねん・ジュニアロボットコンテスト」が開催されました。

県内14市町村のクラブが出場し、「一般参加部門（ロボ相撲）」初級部門（ロボサッカーⅡ）」「上級部門（バランスシーソー）」の3競技に分かれ、ロボットの性能や操作技術を競い合いました。

平成14年度に「小泊村少年少女発明クラブ」として発足してから4年目、そして3度目のロボコン挑戦で初めて入賞することができました。さらに全部門での入賞ということで、会員・指導員も大喜びでした。

これを励みに来年度も活動を続けていきますので、興味のある方、どんどん入会してください。

【ロボ相撲】敢闘賞
横野　翔（小泊小5年）

【ロボサッカー】敢闘賞
最強トリプルアタッカーズチーム
川山大地・佐藤圭介・山崎雄大
（小泊小6年）

小泊フィッシャーズチーム
外崎翔平・成田松永・三上大輝
（小泊小6年）

【バランスシーソー】敢闘賞
甦る空チーム
佐藤浩由・佐藤僚太（小泊中2年）

おむすび講演会と実演

……平成17年度中泊町生涯学習推進大会

2月12日、パルナスにおいて中泊町生涯学習推進大会が開催されました。

大会では、藤田教育長の挨拶の後、岩木山麓で、心尽くしの手料理と自然な対話で、生きることに疲れた人の心に喜びと勇気を与えている「森のイスキア」を主宰する佐藤初女さんが「食を通して育むいのち～すべてに命がある～」と題した記念講演を行いました。

講演の中で、佐藤さんは「食の大切さ」や「心を込めた美味しいおむすびのにぎり方」などについて1時間にわたって話しました。

講演のあと、事前に募集した親子30組を対象におむすびの実演をしました。

佐藤さん流のおむすびは、茶碗によそった1個分のご飯の山を木のまな板にのせます。にぎる前に手に塩をまぶし、米粒をつぶさないようにふんわりとにぎります。最後に4つ切りにしたのり2枚を上下から合わせ、角と角をずらしてご飯が見えないようします。

参加した親子は、佐藤さんの独特なにぎり方をまねながら、心を込めておむすびをにぎり、できあがったおむすびはとても美味しいと好評でした。

第1回中泊町学童スキー大会 第1回中泊町学童スノーフェスティバル

（2月11日・宮野沢スキー場）

◇小学校1・2年生男子回転
1位　今　翼（中里小2年）
2位　外﨑達矢（中里小2年）
3位　浅野生士（薄市小1年）

◇小学校3・4年生男子回転
1位　伏見有史（中里小4年）
2位　三上壱星（中里小4年）
3位　松谷智生（中里小3年）

◇小学校5・6年生男子回転
1位　成田隆星（薄市小6年）
2位　東山公真（中里小5年）
3位　相馬真樹（中里小5年）

◇小学校1・2年生女子回転
1位　三上朝賀（中里小2年）

◇小学校3・4年生女子回転
1位　長谷川久美子（中里小4年）
2位　澤田有紀（薄市小3年）
3位　谷紗弥子（薄市小3年）

◇小学校5・6年生女子回転
1位　今亜利沙（中里小6年）
2位　今　美乃（中里小5年）
3位　葛西幸菜（中里小5年）

◇小学校4年男子ジャンプ
1位　伏見有史（中里小）

◇小学校5年男子ジャンプ
1位　松谷一輝（中里小）

◇小学校5年女子ジャンプ
1位　今　美乃（中里小）

◇小学校6年男子ジャンプ
1位　伏見俊哉（中里小）
2位　田中明斗（中里小）

◇小学校1・2年生男子ソリ
1位　鈴木隆盛（中里小1年）
2位　松谷隆貴（中里小1年）

◇小学校3・4年生男子ソリ
1位　小寺匡哉（薄市小3年）
2位　三上壱星（中里小4年）
3位　松谷智生（中里小3年）

◇小学校5・6年生男子ソリ
1位　竹谷　涼（中里小5年）
2位　相馬真樹（中里小5年）
3位　坂田直也（中里小5年）

◇小学校1・2年生女子ソリ
1位　秋元咲穂（中里小2年）
2位　田中未音（中里小2年）
3位　三上朝賀（中里小2年）

◇小学校3・4年生女子ソリ
1位　谷紗弥子（薄市小3年）
2位　長谷川久美子（中里小4年）
3位　三上　葵（武田小3年）

◇小学校5・6年生女子ソリ
1位　小寺千尋（薄市小5年）
2位　秋元祐乃（中里小5年）
3位　葛西幸菜（中里小5年）

◇雪上フラッグ
1位　秋元丈一郎（薄市小5年）
2位　竹谷　涼（中里小5年）
3位　工藤　舞（中里小5年）

車いす贈呈「ふみふみ会」

このほど、ボランティアグループ「ふみふみ会」（葛西美奈子代表）は、五所川原市にある身体障害者療護施設「第二うちがた」（藤本隆園長）と中泊町社会福祉協議会（加藤久宜会長）に車いすを2台贈りました。

「ふみふみ会」は会員27名で、空き缶をリサイクルし、車いすを購入する活動を行っており、現在まで5台の車いすを購入し、施設や関係機関等へ贈っています。

以前にも同協議会へ車いすを贈っており、今回が2度目となりました。

葛西代表は、「今まで5台の車いすを購入できたのも、たくさんの人の協力のおかげ」と話していました。

特別養護老人ホーム 静和園だより

◇慰問

・「中泊ライオンズクラブ」
代表・鈴木隆浩

会員6名来園。居室を回り入所者へ「バスタオル」をプレゼントしてくれました。

・「菊池鉄男一行」
代表・菊池鉄男（青森市）

一行4名来園。今回初めての慰問で、手踊り、民謡、三味線を1時間にわたり披露してくれました。

・「花柳穂紀桜会」
代表・三上紀子

会員19名来園。今回初めての慰問で、舞踊、手踊りを1時間にわたり披露してくれました。

・「なにもさざ保存会&中里三味線会」
代表・坂田久仁彦

会員14名来園。民謡、三味線、手踊りを1時間にわたり披露してくれました。

◇寄贈

・「花柳穂紀桜会」
…洗顔タオル80枚

特集

常勤医復活まもなく1年

―国民健康保険小泊診療所―

おととしの9月末に前所長が退職してから常勤医が不在となっていた小泊診療所。
現所長の山田悦輝医師が赴任し、常勤医が復活してからまもなく1年を迎えます。そこで今回小泊診療所の現在の様子を紹介します。

国民健康保険小泊診療所の歴史は、小泊村閉村記念誌に掲載されている小泊村年表によると、昭和24年に開設。28年に字浜野48―2に新築。47年には診療所下前分所を開設。その後平成9年に字浜野から現在の字朝間へ新築移転しました。新しい診療所は在宅介護支援センターを併設する形で、入院病床19床を有し、平日の午前と午後に内科・小児科・皮膚科と歯科の診療が行われていました。

おととし平成16年にそれまで10年間勤めていた前所長が9月末で退任。後任が見つからなかったため常勤医が不在となり、10月から昨年の3月までは内潟診療所の野上先生と武田診療所の市村先生による半日診療となっていました。

しかし昨年4月1日、山田悦輝先生が所長として赴任され、常勤医が復活しました。

山田所長は田子町で生まれ、弘前大学医学部を卒業。約30年間静岡県内の病院に勤務していました。1年間の大畑病院勤務を経て小泊診療所長となりました。

以来現在まで、入院病床は廃止のままとなっていますが、従来通り平日の午前と午後に診療が行われています。

1日に80人～100人、多い時は140人ほどの患者さんが受診に訪れているそうです。また、1週間か2週間に1度は4、5軒を回って往診もしているということです。

山田所長にインタビュー

山田悦輝所長

―小泊の印象は？

自然に恵まれている。働く場が少ないので都会に出ていく若い人達が多いように思う。

―小泊の人々の健康意識について？

若い人からお年寄りまで、食事に気をつけたり、健康食品などを利用するなど自分なりに考えて健康に気を使っていると思う。

―赴任してからの1年を振り返って？

一人暮らしや老夫婦だけの世帯が多いので、そのような人達が安心して暮らせるような医療を提供したい。

―患者さんの傾向は？

高齢者が中心。腰痛やひざ痛の人が多い。冬場はやはり風邪やインフルエンザが多くなる。

―2年目を迎えるにあたって？

来年もここで働けるのはありがたい。マンネリ化することなく、赴任した時の初心に帰って、また最初の頃の気持ちを持ち続けて少しでも地域医療の役に立てればいい。

また小泊を含めて中泊町は高齢者が多いので、今後は往診などの在宅医療が重要になってくるので、そちらにも力を入れていきたい。

小泊診療所に来てからは読書の時間が増えたと話す山田所長。診察時間が終わっても、急患に備えて夜8時頃まで待機しているということです。

医師不足が叫ばれている今日、小泊地域の医療は山田所長をはじめとする小泊診療所が大きな役割を果たしています。

みんなの保健センター

むし歯のない子紹介

●3歳児健診にて

①むし歯をつくらないように、日頃気をつけていることは？
②わが子の自慢できるところは？

鈴木　大生(すずき　たいせい)ちゃん
（新町２）

①夜はおかしを食べない
②何を書いているかわからないけど、お兄ちゃんのまねをして勉強をしています

豊澤　唯海(とよさわ　ゆいか)ちゃん
（花丘町）

①おやつは時間を決めてあげている
②お絵描きが上手

●1歳6ヵ月児健診にて

三上シュラ(みかみ)ちゃん
（下前上）

佐藤紅零亜(さとうくれあ)ちゃん
（花丘町）

角田　晃真(かくた　こうま)ちゃん
（下前上）

秋田　愛香(あきた　あいか)ちゃん
（上　町）

和嶋　力(わじま　りき)ちゃん
（新町１）

中泊町死因統計

平成17年、167名の方が亡くなりました。死亡原因は左のとおりです。

一番多かった死因はがん（悪性新生物）で、特に肝臓のがん、大腸、結腸のがんが増加しています。

がんも早期に発見されれば治る時代です。そのためには1～2年に一度は必ず健診を受けましょう。4月から町の集団健診が始まります。病院、職場などで健診を受ける機会のない方はご利用下さい。

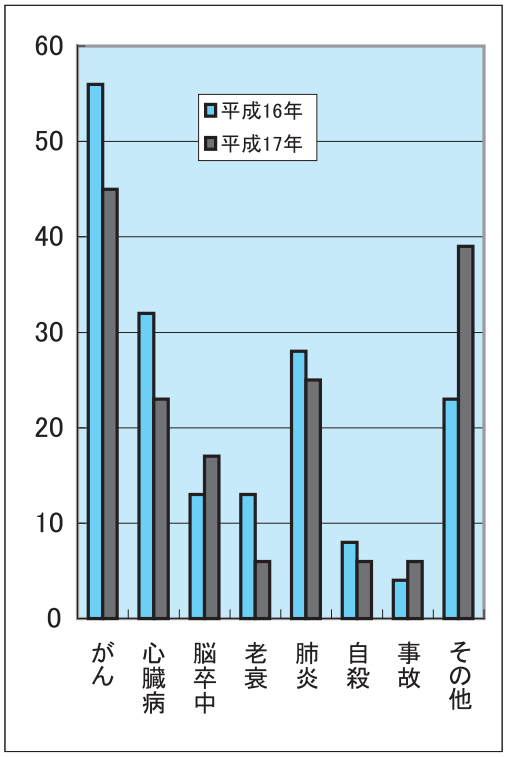
また、18年度より、前立腺がんの検査が新たに加わりました。対象は50歳以上の男性で、方法は血液検査です。ぜひ、この機会に受診してください。

中泊町死因別状況

	平成16年	平成17年
が　ん	56	45
心臓病	32	23
脳卒中	13	17
老　衰	13	6
肺　炎	28	25
自　殺	8	6
事　故	4	6
その他	23	39
計	177	167

（人）

町合併前の分は両町村分を足したものです



中里保健センター　TEL 57-3920

●所内健康相談（毎週月曜日午前）
●乳児健診（BCG、三混予防接種）
　3月16日（木）
●三種混合予防接種
　3月15日（水）
●風疹予防接種
　3月23日（木）
●2歳6ヵ月児歯科健診
　4月5日（水）

★予防接種、乳幼児健診の対象、受付時間等は配布しています「日程表」をご覧下さい。

メタボリックシンドロームを知っていますか？

メタボリックシンドロームとは「内臓脂肪症候群」と訳され、肥満に加え、軽症でも高脂血症・高血圧・糖尿病といった生活習慣病を1人で2つ以上持っている状態をいいます。

ひとつひとつの症状が軽度でも、こうした病気が重なることで動脈硬化を急激に悪化させ、心筋梗塞や脳卒中などの危険性が高まることがわかっています。

肥満

メタボリックシンドロームの土台となるのが、肥満です。

なかでも内臓に脂肪がたまる「りんご型肥満」（内臓肥満）は要注意！

ウエスト（おへそまわり）が、
□男性85cm以上
□女性90cm以上
の方は内臓肥満です。

肥満に加え、動脈硬化の要因である次の状態に2つ以上当てはまる方はメタボリックシンドロームと診断されます。あなたの健診結果をチェックしてみましょう。

高脂血症予備軍

□中性脂肪　150mg／dℓ以上
□HDLコレステロール　40mg／dℓ未満

高血圧予備軍

□最高血圧　130mmHg以上
□最低血圧　85mmHg以上

糖尿病予備軍

□空腹時血糖値　110mg／dℓ以上

これらの数値は、病気の診断基準より低めに設定されています。「ちょっと高め」「少しくらいは平気かな」と思っていても、複数の病気が重なることで動脈硬化の危険性が高まります。

★動脈硬化はなぜ怖い

動脈硬化とは、心臓から全身へ血液を運ぶ動脈が硬くなることをいいます。動脈の内側の壁にコレステロールがたまって血管が狭くなり、それとともに血管が硬くなってもろくなります。そのため血液が流れにくくなったり、血のかたまりがつまりやすくなったりします。

動脈硬化が怖いのは、自覚症状がないまま進行し、心臓病や脳卒中など死に至る恐ろしい病気を招くためです。

★メタボリックシンドロームを予防・解消するには…

まずは肥満（内臓肥満）を予防・解消することです。生活習慣を見直し、次のポイントを心がけましょう。

ポイント1食生活

①1日3食、規則正しく食べる。
②腹8分目を心がけ、食べ過ぎない
③ゆっくりよくかんで食べる
④お菓子や甘いものを控える
⑤買い置きはしない

ポイント2運動

①生活の中で積極的に体を動かそう
②車移動を控え、徒歩や自転車を利用
③休日はごろ寝せず、趣味やスポーツなどで体を動かそう

プラス1禁煙

喫煙は動脈硬化を促進させる代表的な危険因子です。喫煙している人は、何よりも禁煙を目指しましょう。

プラス2健診

メタボリックシンドロームは自覚症状がありません。定期的に健診を受けて数値をチェックしてみましょう。

とくに40歳を超えると肥満の割合が急激に高まっています。肥満を予防・解消し、血管を若々しく保って、元気で活発な80歳を目指しましょう。

予防接種の広域化について

平成18年4月1日から「青森県内広域予防接種」が実施されます。この制度は、特別な事情で居住地市町村での定期予防接種を受けられなかった方が、「県内広域予防接種協力医療機関」において、接種を受けられるように機会を広げたものです。ただし、原則的には居住市町村での接種が基本となりますので、利用するには次の要件に該当する方となります。

①やむを得ない事情により接種機会を逃した方
②里帰り出産等のため実家がある市町村で接種を希望する方
③接種要注意者で他市町村にかかりつけ医がおり、そこでの接種を希望する方

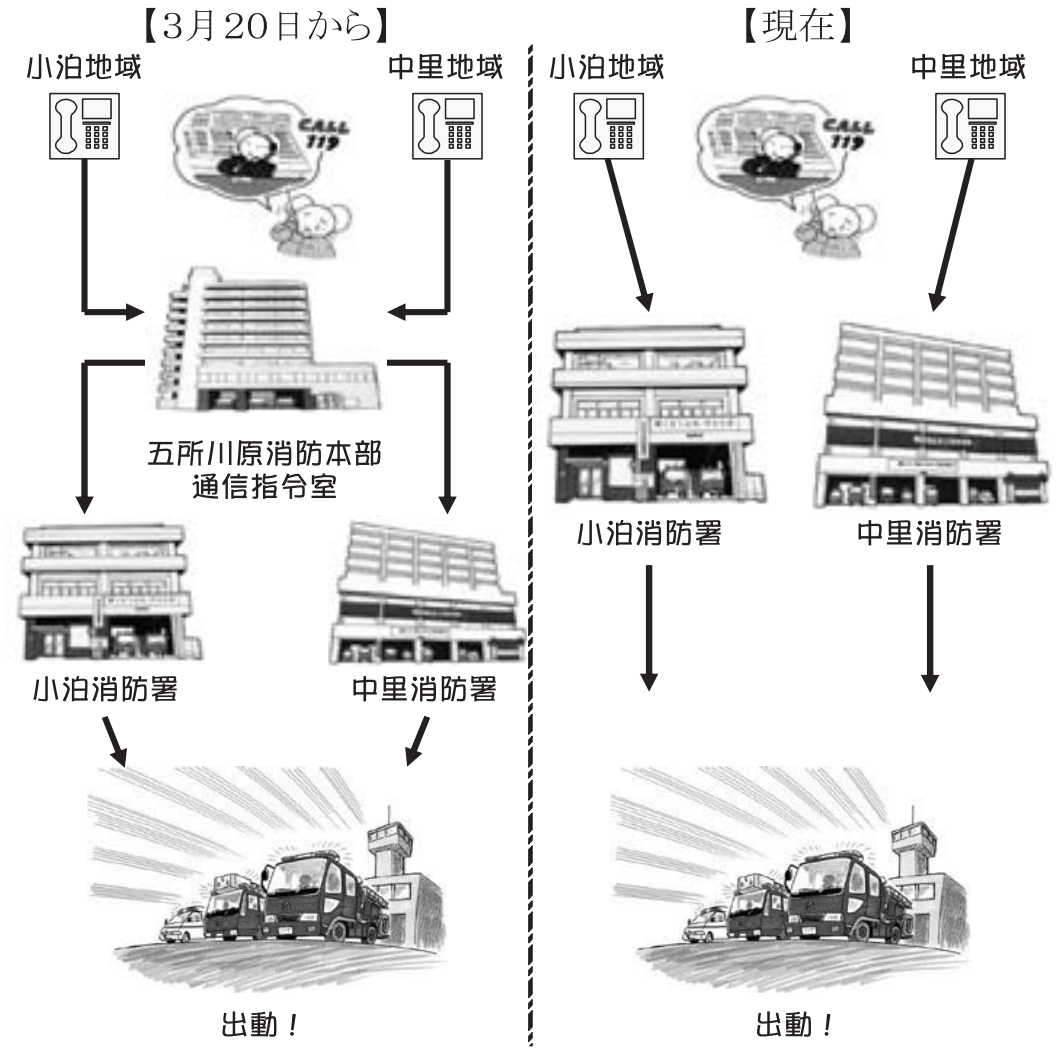
●対象予防接種
①三種混合
②二種混合
③麻疹・風疹
④BCG
⑤日本脳炎（現在接種中止）
★ポリオは対象外です

●接種手続き
必ず、町保健センターに事前にお申込み下さい。

小泊保健センター　TEL 64-3748

●下前地区健康相談
3月14日（火）
午後1時30分～3時
場所：すくすくしたまえ館

3月20日から119番通報が変わります!!



これまでの119番通報は管轄する地域の消防署へ通報され消防車、救急車が出動してきました。

消防事務組合の再編に伴い、効率的な消防活動を図るために平成18年3月20日より五所川原消防本部指令課の通信室一箇所にまとめることになりました。指令課では通報を受けると、ただちに最寄りの消防署から消防車や救急車を出動させます。

また、中泊地域から携帯電話で通報した場合も五所川原消防本部指令課の通信室につながります。

町民のみなさんは、いざという時に備え、電話機のそばに自宅の住所や、近くの目標物、そして電話番号などの必要事項を書いたメモを貼っておくなど、普段から落ち着いて正確な通報ができるよう心がけてください。

※同時に病院照会の電話番号も変更になり、五所川原消防署の職員が対応することになります。

【変更後の番号→34－4999】

☆備考☆

中里地域・小泊地域には多くの通称名があります。これからは、五所川原消防本部の職員が119番に対応するので、通称名だけでは、場所の確認に時間がかかると思います。

119番通報する際には正式な住所を伝えることを心がけてください。

火災を未然に防止！

平成18年2月17日金曜日に五所川原地区消防事務組合消防本部にて災害現場功労者表彰式が行われました。

表彰を受けた方は郵便配達員の津島正治さんです。

津島さんは平成17年12月に、薄市の昆布掛地区で郵便物を配達していた所、家の中に煙が充満しているのに気付き、玄関から中を覗きこんだ所、人が倒れて動けないでいるのを発見した。台所の方を見るとガスコンロの上にかけてある鍋から激しく煙が出ていたので急いでガスコンロを止め、元栓を締めた後、倒れていた人を介抱し、救急車を呼び、救急隊へ引き渡しました。

津島さんの一連の行動により、火災を未然に防止すると同時に人命救助もされました。

【表彰式の様子】

中泊119

平成18年３月号

火事/救急/救助は
119番

病院照会
34－4999番

中里消防署
57－2370番

小泊消防署
64－2375番

つがる西北五広域連合からのお知らせ

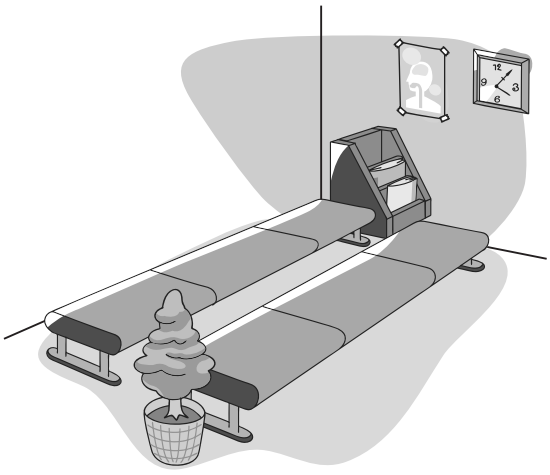
西北五地域における
「自治体病院機能再編成マスタープラン」
を策定しました。

つがる西北五広域連合では、平成17年度当圏域の自治体病院機能再編成を着実に推進するため、平成14年度以降進めてきた成果を踏まえて、圏域の関係者が主体となり当面の課題の検討と、計画実現に向けた所要事項の整理を行い、自治体病院機能再編成マスタープランとして取りまとめ、平成18年２月７日のつがる西北五広域連合正副連合長会議で了承されました。

地域がひとつの病院となって地域住民が満足できるより良い医療サービスを提供するため、２市４町（五所川原市、つがる市、鰺ヶ沢町、深浦町、中泊町、鶴田町）で構成するつがる西北五広域連合が主体となって、地域医療を支えていく体制を構築するものです。

マスタープランでは、新たに医療の中心となる中核病院を建設し、周辺の自治体病院を慢性期医療の提供や外来診療、在宅医療などを担う医療機関に転換し、中核病院と一体運営しながら医療の連携を図り、一般的な医療が圏域で完結できる医療体制を構築することにより、現在当圏域が抱えている脳疾患や心疾患への対応、厳しさを増す医師不足や経営赤字などの課題の解決に向けた取り組みを行うものです。

新たに建設する中核病院は、病床数492床で計画、外来は１日当たり1,100人を見込んでいます。医療機能では圏域の高度医療と救急医療を担う病院を目指します。建設費の概算額は199億円(土地取得費含まず)と試算し、平成23年度中の開院をめざしています。



サテライト医療機関については、西北中央病院以外の既存の４自治体病院が機能転換を図ることになりますが、国の医療制度改革の動向、医師確保の見通し、今後の社会情勢の変化を見据え、継続して具体的なあり方の検討を進めます。

地産地消対策推進会メンバーの募集について

地元で生産されたものを地元で積極的に消費する地産地消を進めるため、昨年秋第１弾としてお米のサンプルを配布しアンケートを取ったところ大変好評を得ました。今後は地場流通等を検討するため消費者の皆様にも協議に参加していただき、アドバイスをいただきたいと考えております。

そこで推進会の消費者メンバーを３名程度募集する事となりました。興味ある方もしくはご協力できる方がございましたらご応募をよろしくお願いします。

【委員の条件】

・現在、中泊町に住所を置きお住まいの方。
・無報酬(ボランティア)で参加できる方。
・２ヵ月に１回　午後６時から約２時間の会議に出席できる方

※委員の期間は１年間を予定しています。尚、応募多数の場合、当方で選考させていただきます。

【応募方法】住所・氏名・年齢・職業・電話番号をご記入したものを郵送もしくは直接役場産業課までお持ちください。

【申込期限】平成18年４月７日まで（７日消印有効）

【提　出　先】
〒037－0305　中泊町大字中里字亀山434－1
中泊町役場産業課　「地産地消対策推進会メンバー募集係」

【問い合せ先】
中泊町役場産業課開発指導係
TEL　57－2111(内線26)

造林用苗木等の申込み受付

造林用苗木並びに特用樹・緑化木の申込みを受付します。

申込みは、産業課及び小泊分室に備付けの申込書に樹種、本数、申込者氏名、住所、電話番号の記入によりお願いします。

受付締切は３月17日（金）まで。苗木の配布は４月下旬、中泊町役場及び小泊支所の予定です。

【担　　当】
産業課林務係　　伊藤　TEL　57－2111（内線29）
産業課小泊分室　工藤　TEL　64－2111

心配ごと、お気軽にご相談ください

３月15日：近　村　　敦　　小　寺　徳　満
３月22日：竹　内　彦次郎　　荒　関　一　男
３月29日：中　村　盛　江　　秋　元　武　弘

情報伝言板

農業振興地域整備計画変更の申請をする方へ

農業振興地域内にある農用地を、農用地以外の目的で使用する場合は、農用地区域からの除外手続きが必要です。

農用地区域からの除外等の農業振興地域整備計画変更を希望する方は、次のとおり受付致します。必要書類を揃えて、申出期間内に提出してください。

【申出期間】平成18年４月20日（木）
【提　出　先】中泊町役場産業課農業振興係
TEL　57-2111（内線27）

金木警察署からのお知らせ

平成18年４月１日から、金木警察署は「五所川原警察署金木分庁舎」となります。

金木警察署を五所川原警察署に統合し、五所川原警察署金木分庁舎として現金木警察署の管内（旧金木町・旧中里町・旧市浦村・旧小泊村）を担当区域とします。新五所川原警察署は、本署（現五所川原警察署）と金木分庁舎で構成され、五所川原市・鶴田町・中泊町を管轄します。

分庁舎の体制・運用については、警視を総括責任者として配置し、○警察安全相談係○自動車警ら係○刑事生活安全課○交通課を配置して、治安水準の維持に努めるとともに、運転免許証の更新等各種許認可事務も引き続き受け付ける等、住民の方の利便性を確保します。

忘れていませんか!?愛車の住所変更

自動車税の納税通知書は、原則として４月１日現在の自動車登録の住所にお届けします。引越しなどで住所が変わった場合は、運輸支局で住所の「変更登録」の手続きが必要です。

この「変更登録」の手続きを３月中にできない場合は、県税事務所へ電話によりお知らせいただくか、住所変更届をFAXなどによりお届けください。

住所変更届は、県税事務所のほか、各市町の窓口でも配布しております。また、自動車税の住所変更は県税・市町村税インフォメーションでも受付しています。
(http://www.pref.aomori.lg.jp/zeimu/)

【問い合せ先】五所川原県税事務所総務課
TEL　34－2111（内線209,210,211）
FAX　34－2110

国民年金のお知らせ

保険料の納め忘れはありませんか

年金は、世代と世代の支えあいの制度です。あなたが納付する保険料が高齢者世代の生活を支え、同時にあなたや家族の年金権を守るためにも、保険料は忘れずに納付しましょう。

国民年金の給付には、老後の生活保障である老齢基礎年金だけでなく、思わぬ事故等により障害が残った時の障害基礎年金、生計を維持している人が亡くなった時の遺族基礎年金があります。保険料を納付期限までに支払っていないと、このような年金給付を受け取れないことがあります。また、納付期限から2年間を経過すると保険料を納付することができなくなるため、将来、受給する老齢基礎年金の年金額が少なくなったり、受け取れない場合があります。

保険料は、社会保険庁から送付される「納付書」で、金融機関・郵便局、またはお近くのコンビニエンスストア、社会保険事務所でお支払ください。

障害基礎年金と老齢厚生年金等の併給ができるようになります

現在、２つ以上の年金を受け取る権利がある人は、どちらかの年金を選択して受けることになっています。このため障害基礎年金の受給権者にとって、障害を持ちながら働いて保険料を納めても、年金給付に反映されにくい仕組みとなっていました。

しかし平成18年４月から、障害者の生活基盤を強化し、障害を持ちながら働いたことが評価されるように、障害基礎年金を受けながら働いて厚生年金保険料を納めた人は、障害基礎年金と老齢厚生年金を一緒に受けることができるようになります。また、厚生年金加入者の夫が亡くなり障害を持った妻は、障害基礎年金と遺族厚生年金を一緒に受けることができるようになります。詳しくは弘前社会保険事務所までお問い合せください。　TEL　0172－27－1309

パルナス 図書館情報

今月のMiniコレクション

「鍋料理」
「ミステリー・推理小説」をテーマにした本の展示をします。

新刊情報

魔女の笑窪	大沢在昌(文藝春秋)
ウーマンズ・アイランド	林真理子(マガジンハウス)
超バカの壁	養老孟司(新潮社)
ペダルの向こうに	池永陽(光文社)
帰郷	辻内智貴(筑摩書房)

関節リウマチ市民公開フォーラム
―見逃すことのできないリウマチ由来の関節痛―

関節リウマチは進行すると寝たきりの状態になってしまうことは知られていますが、早期発見・早期治療により病気をコントロールするためにはどうしたらよいのか、また進行してしまった場合に外科的治療によりどのように改善されるのかを、分かりやすく専門医であるリウマチ内科ドクターとリウマチ外科ドクターに講演していただきます。

【日　　時】平成18年３月15日（水）
午後６時～７時30分
【会　　場】ふるさと交流圏民センターオルテンシア
【入 場 料】無料（事前の申込みは必要ありません）
【問い合せ先】
整喜会定例研究会幹事　新戸部泰輔　TEL 35－3111

技能講習会のお知らせ

フォークリフト運転技能講習会

【講習対象】最大荷重１トン以上のフォークリフト運転業務
【開催日時】４月３日から７日まで（５日間）
午前９時から午後６時まで
（大型特殊免許所有者は２日間の受講）
【開催場所】
・学科　（社）西北労働基準協会２階大ホール
・実技　（株）五所川原中央青果構内
【受講資格】大型特殊、大型・普通自動車免許所有者
【受 講 料】
①大型・普通自動車免許の所有者
31,470円（テキスト代を含む）
②大型特殊自動車（カタピラ限定付除く）免許所有者
13,470円（テキスト代を含む）
【締　　切】３月28日か定員80名に達し次第締切。
【申 込 先】(社)西北労働基準協会　TEL　35－6336

玉掛技能講習会

【講習対象】つり上げ荷重１トン以上の玉掛業務
【開催日時】４月10日から12日まで（３日間）
午前９時から午後５時まで
【開催場所】
・学科　（社）西北労働基準協会２階大ホール
・実技　斎勝建設（株）構内
【受講資格】満18歳以上の者
【受 講 料】
①21,700円（テキスト代を含む）→免除なしの者
②18,700円（テキスト代を含む）→受講一部免除者
※受講一部免除等詳細は協会までお問い合せください。
【締　　切】４月４日か定員80名に達し次第締切。
【申 込 先】(社)西北労働基準協会　TEL　35－6336

五所川原地区消防本部からのお知らせ

3月20日から中泊町からの119番通報が五所川原市にある消防本部につながります。

火事と救急は局番なしの119番へ

〈119番に関するお問い合わせ先〉五所川原地区消防事務組合消防本部　指令課　電話　35－2019

戸籍の窓口

（1月届出分）

お誕生おめでとう

三上　未來（みらい）（女・大介）　芦野
藤井　穂華（ほのか）（女・幸）　深郷田下
阿部　桃子（ももこ）（女・紳二）　深郷田下
小山内梨乃（りの）（女・浩司）　今泉上
葛西　姫由（ひより）（女・匠）　尾別
田中　愁人（しゅうと）（男・誠）　大沢内
田名部真央（まお）（女・亘）　若葉町

ご結婚おめでとう

小野寺　謙剛（岩手県）
（福士　こず恵（薄市下））
佐藤　直人（芦野）
（三和　かすみ（五所川原市））
金山　邦昭（埼玉県）
（三上　愛美（今泉上））
三宅　義典（仙台市）
（福嶋　江理子（八幡））
岩川　飛鳥（花丘町）
（角田　直美（花丘町））

お悔やみ申し上げます

加賀田きな93（豊島）
加藤要一77（派立下）
高杉キヨ86（上高根）
小林昭夫50（今泉下）
野上　榮55（下高根）
工藤政光78（向町下）
小鹿正博80（五林）
今　セキ85（向町上）
大田ツマ82（宮野沢）
福士シナ88（上高根）
神　クニ82（竹田）
打越キヨ86（八幡）
木村友次郎83（上高根）
高松長之進84（田茂木）
塚本武幸85（富野）
佐藤勝正87（新町1）
小野セキ83（温泉町）
山田一二73（若葉町）
伊藤　章82（入舟）
越野サンコ79（温泉町）
白岩アエ73（小泊派立）

人のうごき

1月末現在(前月比)

人　口	14,936人(－9)
男	7,125人(－9)
女	7,811人(　0)
世帯数	5,150戸(＋5)
出生	7 ／ 死亡　22
転入	20 ／ 転出　14

発行／青森県北津軽郡中泊町　中泊町役場　　編集／企画調整課　☎0173-57-2111　内線49
http://www.town.nakadomari.lg.jp/